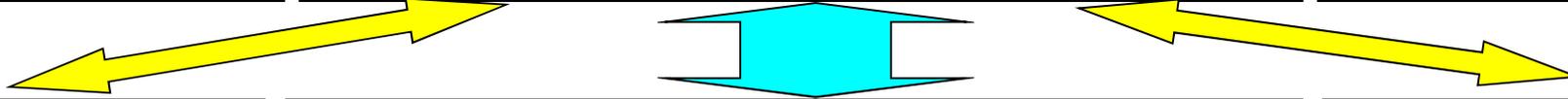


平成28年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立 潮小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国学力調査の結果から見られる課題</p> <p>(1)各教科の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の文中から主語を見つける力が弱い ・算数科において自分の考えを数学的に表現する力が弱い <p>(2)質問調査の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情が低い。 ・毎日の睡眠時間に差がある。 ・自主性が乏しい。 ・自分で課題を立てて、情報を集め、整理して発表する学習があまりできていない。 ・読書を全くしない児童が25%いる。 	<p>○校内研究会を年4回、ブロック研究会を年3回、その他すべての教員による一人一授業を行い、国語科の研究を深める。</p> <p>○講師を招聘し、指導助言を仰ぐ。</p> <p>○授業力アップのための校内研修会を行う。</p> <p>○アクティブラーニング推進や課題解決学習を取り入れた先進校への視察を行う。</p> <p>○アクティブラーニング推進に向けた取り組みを市内に公開する。</p>	<p>○自主学習のてびきを活用し、自主学習を含む、家庭学習の推進を図る。</p> <p>○放課後学習を実施し、低学力の児童の学力底上げを図る。</p> <p>○生活リズムのチェックを実施し、基本的な生活習慣の確立を図る。</p>	<p>○朝学習の読書を徹底させる。</p> <p>○読書力向上員の活用により、図書室の利用をさらに活性化させる。</p> <p>○スタディープランの作成により、学習習慣の定着を図る。</p> <p>○個々で計画的な予習、復習に取り組み、主体的な学習習慣を身につけさせる。</p> <p>○学校だより等で、学力調査の結果の公表を行う。</p>	<p>○学習に自主的に取り組める子どもを育成する。</p> <p>(自主学習の提出率90%以上)</p> <p>○課題解決学習(課題を立て、情報を集め、整理し、課題解決を図る)に取り組みさせる。</p> <p>○基礎基本をしっかりと定着させる。</p> <p>○保護者アンケートを実施する。</p>



校種間連携	活用する支援内容	家庭・地域との連携																
<p>○中学校区による合同研修会を夏季休業中に実施する。</p> <p>○入学前に体験学習をし、中学校の取り組みを知る。</p> <p>○本校の特色ある取り組みを中学校にも紹介する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>具体的内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)アクティブ・ラーニング推進支援</td> <td>潮スタイル授業を取り入れた授業実践を推進する。</td> </tr> <tr> <td>(2)先進校視察支援</td> <td>課題解決学習を行っている先進校を視察し、その後は報告会等を行い、潮スタイル授業をより豊かなものにする。</td> </tr> <tr> <td>(3)授業補助支援</td> <td>3・4年生の算数科を中心に、学力向上支援員を配置する。</td> </tr> <tr> <td>(4)放課後等学習支援</td> <td>毎週木曜日の3時～4時半、低学力の児童の学力底上げを図る。 放課後学習 2h×週1×20週 夏季休業期間1.5h×8回</td> </tr> <tr> <td>(5)学力定着支援</td> <td>スタディープランの活用や自主学習のてびきを印刷し、各家庭に配布する。</td> </tr> <tr> <td>(6)地域人材活用支援</td> <td>図書ボランティアの方に読み聞かせをしてもらう。</td> </tr> <tr> <td>(7)その他</td> <td>自尊感情を高めるため、キャリア教育の推進を図る。</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	具体的内容	(1)アクティブ・ラーニング推進支援	潮スタイル授業を取り入れた授業実践を推進する。	(2)先進校視察支援	課題解決学習を行っている先進校を視察し、その後は報告会等を行い、潮スタイル授業をより豊かなものにする。	(3)授業補助支援	3・4年生の算数科を中心に、学力向上支援員を配置する。	(4)放課後等学習支援	毎週木曜日の3時～4時半、低学力の児童の学力底上げを図る。 放課後学習 2h×週1×20週 夏季休業期間1.5h×8回	(5)学力定着支援	スタディープランの活用や自主学習のてびきを印刷し、各家庭に配布する。	(6)地域人材活用支援	図書ボランティアの方に読み聞かせをしてもらう。	(7)その他	自尊感情を高めるため、キャリア教育の推進を図る。	<p>○学校だより等で、学力調査の結果の公表を行う。</p> <p>○自主学習のてびきを、家庭での掲示用に配布し、自主学習の周知を図る。</p> <p>○生活リズム運動を児童と共に行ってもらい、生活リズムの改善を図る。</p> <p>○学力テストの結果を配布する。</p> <p>○学校独自の学力テストを実施し、各学年の課題を家庭と共有する。</p>
支援内容	具体的内容																	
(1)アクティブ・ラーニング推進支援	潮スタイル授業を取り入れた授業実践を推進する。																	
(2)先進校視察支援	課題解決学習を行っている先進校を視察し、その後は報告会等を行い、潮スタイル授業をより豊かなものにする。																	
(3)授業補助支援	3・4年生の算数科を中心に、学力向上支援員を配置する。																	
(4)放課後等学習支援	毎週木曜日の3時～4時半、低学力の児童の学力底上げを図る。 放課後学習 2h×週1×20週 夏季休業期間1.5h×8回																	
(5)学力定着支援	スタディープランの活用や自主学習のてびきを印刷し、各家庭に配布する。																	
(6)地域人材活用支援	図書ボランティアの方に読み聞かせをしてもらう。																	
(7)その他	自尊感情を高めるため、キャリア教育の推進を図る。																	